



医療福祉・在宅看取りの地域創造会議 通信 第80号

(R2/6/11)



第84回ワーキンググループ会議Web (令和2年5月28日)



住み慣れた地域で住み続けたい！
～地域での見守り等の支援活動～

長浜市社会福祉協議会

第1層生活支援コーディネーター 細江 正直 さん

ホームページの「みまもり！みとりちゃんTV」で公開しています。見てね！

「今まで、何十年と暮らしてきたこの場所で最期まで過ごしたい」と希望される高齢者はたくさんいらっしゃいます。それを叶えるために地域は何ができるか・・・ということ念頭に、地域と専門職をつなぐ役割を果たすべく活動しているのが生活支援コーディネーターの方たちです。長浜市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターのおひとりである細江さんに、日頃の活動について様々な事例を交えてお話しいただきました。



話し合う機会づくり

- ・地域住民の方と「地域」について考え、話し合う機会づくりとして「地域福祉懇談会」を開催
- ・介護専門職や地域支援専門職(保健師・地域包括支援センターなど)との地域課題共有や意見交換
- ・専門職や地域活力プランナーとの連携により個別支援と地域支援の連携づくり 等

見守り活動

- ・「命のバトン(いざという時に必要となる情報の保管)」の設置、情報更新による定期的な見守り活動
- ・各々に確認した「今日も元気ですよ！」のサインを、近所の人が日常生活の中で確認する
- ・自治会長、民生委員、福祉委員を中心に情報共有、困りごとを抱えている人の支援の検討 等

住み慣れた地域で暮らし続けるため～地域の支援活動～

生活支援活動

- ・地域のボランティア団体等による生活支援ボランティア活動
- ⇒「自分で選んで買い物がない」「畑が生きがいができない」「庭が荒れて近所に迷惑をかけたくない」という高齢者の声にこたえ、買物支援・畑作業の手伝い・庭木の剪定・通院の付き添い等を地元の人が支援

居場所づくり

- ・サロン活動、転倒予防教室などの居場所づくり支援や訪問調査
- ・ケアマネジャーと連携した地域の居場所への参加(外出の機会づくり)
- ・地域のサロンや居場所づくり活動を担うボランティアとの連携 等

参加者より

- ・地域の支え合い活動のヒントをたくさんいただくことができた
- ・地域によってはコーディネーター、住民、ケアマネジャーの連携が十分でないところもある。縦割りでの支援を考えるのではなく、インフォーマルな視点で、地域で暮らし続けるための支え合いについて検討し取り組んでいきたい
- ・活動継続、担い手づくりの秘訣は「楽しみがあること」というのが印象的だった
- ・地域包括ケアシステムに対して、地域の方と一緒にシステム構築に携わる必要性を強く感じた
- ・見守りの人が高齢者の普段の様子や「サイン」を日頃から気にかけておくというのは難しい取り組みだと思った。
- ・専門職の協議などでも、悩み事だけでなく良かった話も共有するということを取り入れていきたい
- ・地域の一員として、居場所づくり支援や見守り活動は大切にしていきたいと思った



Web配信2回目となった今回は、県外在住の方も含む約40名にご参加いただきました。介護職、医療職、行政書士、司法書士、医薬品卸、製薬メーカー、大学関係の方、県や市町の行政職の方など職種も様々でした。前回同様、通常のワーキンググループ会議には時間や距離の都合で参加できないけれどWebなら大丈夫・・・という声も多くあったのが印象的でした。

Web開催

【第85回ワーキンググループ会議】

テーマ：「本人のQODに寄り添うとは」

話題提供者：花かたばみの会 代表

介護保険認定調査員

井川 裕子 さん

(※花かたばみの会とは、最期を在宅で迎えたい人の支援をされている会です)

日時：6月18日(木) 18:30～19:50

第1部 挨拶&講義

第2部 質疑応答 等



ご意見等お待ちしております！

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 金岡・西浦
TEL:077-528-3529/FAX:077-528-4851/E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp